

22 神奈川県 川崎市

江川せせらぎ遊歩道

水源	導水方法	導水箇所	水環境上の問題
下水処理水	新規管路 動力	河川・水路	水質悪化・悪臭 親水性・景観



※地図中の破線枠は次ページの地図範囲



対象地域の概要

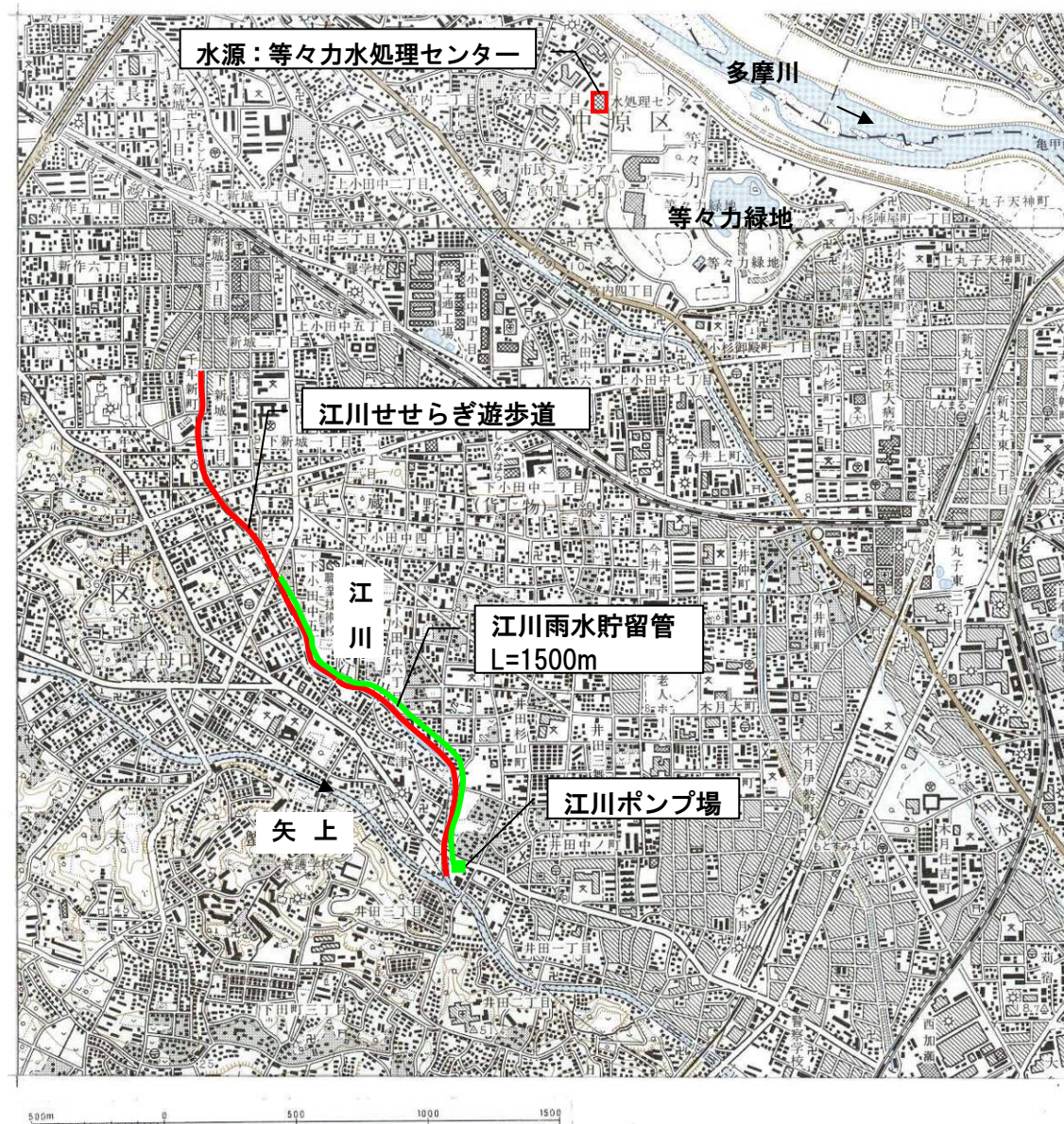
・地域の概要

川崎市中原区は市のほぼ中央に位置し、北東端は多摩川が流れ、それと平行して二ヶ領用水が区内を横切るように流れています。

江川は高津区と中原区の区界を北西から東南にほぼ対角線上に流れ、中原区井田で鶴見川水系矢上川に合流します。この地域は、ほぼ平坦な土地で、大きな工場もなく一般の住宅地となっています。

・水環境上の問題： 水質悪化・悪臭 生態系悪影響 親水性・景観

かつて川崎には多くの用水や堀があり、生活と密着した空間となっていました。急激な都市化によって水質の悪化が激しく、その多くはドブ川と化しました。また、著しい都市化の進展によって、従来地下に浸透していた雨水が短時間で大量に河川や水路に流れ込むことによる浸水被害の発生や、街路や管渠に堆積した汚濁物質を多量に含んだ初期雨水が川や水路に流れ込み、公共用水域の水質悪化を招いていました。



導水事業の概要

・事業概要

事業名：江川せせらぎ遊歩道

せせらぎ水路の地下には雨水貯留用の内径 8.5m、延長 1.5 kmの埋設管を設置しました。

遊歩道には四季折々の植物や自然石などが配置され、安全な通行に配慮したバリアフリー構造となっています。沿川の照明灯は、昼間の太陽熱を利用する省エネタイプで、災害時には夜間の誘導灯の機能も有し、井田山へつながる避難路としても位置づけられています。

テーマ：四季を通じて親しめること（水と緑をつなぐイメージ空間、都市と自然を結ぶ回廊）

ゾーニング：せせらぎ水路全体を8つのテーマ設定している

○都市内の水辺空間：「湧水の小道」

○桜並木を生かした生活道路：「桜のプロムナード」

○自然にあふれる散策道：「ふれあい広場」「せせらぎ広場」「散策の道」「清流の道」

○自然と共生する散歩道：「あぜの道」「河原の道」

導水事業の概要	・ 事業の目的 ドブ川となり悪臭を放っていた川を水と緑をたたえた「せせらぎ遊歩道」として再生し、市民が親しみをもつ生活空間、アメニティ空間を形成することで、かつての水系都市川崎固有の歴史、文化を保全しながら、新しい郷土愛や定住意識を育みます。失われた緑地や水辺の再生により、市民に忘れられた水辺を市民生活に密着した空間として甦らせるとともに、災害時の避難路の確保、延焼遮断帯の形成、初期消火水などを確保することによって市民生活を安全面からもバックアップします。 ・ 解決方法 ・ 在来の排水施設の能力を超えた雨水の浸水を防ぐための貯留(量対策)。 ・ 街路や暗渠に堆積している汚濁物質を多量に含んだ初期雨水の河川への流入を防ぐ(質対策)という2つの目的を達成するための江川雨水貯留管(地下)の設置によって廃川となる江川跡地空間を利用し、「江川せせらぎ遊歩道」を整備することとなりました。 ・ 水源 等々力水処理センターで処理した高度処理水を導水 ・ 導水量 15,500m³/day ・ 施設諸元 【せせらぎ水路】 延長：2,400m 川崎市中原区新城4丁目5番地先～中田1丁目35番地先 幅員：8m～11m 水深：約20cm 【江川雨水貯留管】 地下貯留施設の設置目的は、都市化との進展とともに発生する浸水被害の危険性や水質汚濁の環境問題に対処するため、流入通水を暫時貯留して安全を確保すること。また、汚濁物質を多量に含んだ初期用水を一時貯留し、処理場で浄化し放流することです。 ・ 費用 ＜初期費用＞総事業費 17 億 6,000 万円 平成8年度 国土交通省「水循環再生下水道モデル事業」認可 ＜維持費用＞ —						
NPO・住民との協働	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="304 1464 400 1675"> 協働の背景 </td><td data-bbox="400 1464 1426 1675"> 川崎市が掲げる「市民協働のまちづくり」(当時)の理念に基づき、周辺住民も協議に参加し、施設計画、維持管理方法などを検討しながら進めてきました。 せせらぎ水路の沿川に組織している10の町内会等が、計画段階から関り現在の各町内会の地先の維持管理活動に参加しています。 愛護会として、または、老人会、子ども会としてなど、対応はその地域により異なります。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="304 1675 400 1886"> 役割分担 </td><td data-bbox="400 1675 1426 1886"> ・ 遊歩道の名称は、地元町会、町内会と市で構成した会議で決定。 ・ 市の内部での役割分担 ・ 底地は河川のみであるが、下水道が河川の部局から占用する形で協定書を交わし、水路の設置・管理は、下水道部局が担当(敷地は河川区域だが、施設は下水道施設) ・ 管理については、環境局と下水道部局が協定を結び、愛護会など市民対応は、環境局 </td></tr> <tr> <td data-bbox="304 1886 400 2074"> 成功要因 </td><td data-bbox="400 1886 1426 2074"> 設計段階より地元説明会を開き、地域住民の意見を取り入れ、事業に対する理解を図った結果、多くの住民の理解と賛同を得られました。自然と調和した水辺の遊歩道として幅広い年代の地域住民に利用されています。平成15年11月「手づくり郷土賞」(国土交通大臣)を受賞しました。 地元住民や町会など市民の協力を得ることで、市の負担が軽減するとともに、継続的に環境が良好な状態が維持できます。 </td></tr> </table>	協働の背景	川崎市が掲げる「市民協働のまちづくり」(当時)の理念に基づき、周辺住民も協議に参加し、施設計画、維持管理方法などを検討しながら進めてきました。 せせらぎ水路の沿川に組織している10の町内会等が、計画段階から関り現在の各町内会の地先の維持管理活動に参加しています。 愛護会として、または、老人会、子ども会としてなど、対応はその地域により異なります。	役割分担	・ 遊歩道の名称は、地元町会、町内会と市で構成した会議で決定。 ・ 市の内部での役割分担 ・ 底地は河川のみであるが、下水道が河川の部局から占用する形で協定書を交わし、水路の設置・管理は、下水道部局が担当(敷地は河川区域だが、施設は下水道施設) ・ 管理については、環境局と下水道部局が協定を結び、愛護会など市民対応は、環境局	成功要因	設計段階より地元説明会を開き、地域住民の意見を取り入れ、事業に対する理解を図った結果、多くの住民の理解と賛同を得られました。自然と調和した水辺の遊歩道として幅広い年代の地域住民に利用されています。平成15年11月「手づくり郷土賞」(国土交通大臣)を受賞しました。 地元住民や町会など市民の協力を得ることで、市の負担が軽減するとともに、継続的に環境が良好な状態が維持できます。
協働の背景	川崎市が掲げる「市民協働のまちづくり」(当時)の理念に基づき、周辺住民も協議に参加し、施設計画、維持管理方法などを検討しながら進めてきました。 せせらぎ水路の沿川に組織している10の町内会等が、計画段階から関り現在の各町内会の地先の維持管理活動に参加しています。 愛護会として、または、老人会、子ども会としてなど、対応はその地域により異なります。						
役割分担	・ 遊歩道の名称は、地元町会、町内会と市で構成した会議で決定。 ・ 市の内部での役割分担 ・ 底地は河川のみであるが、下水道が河川の部局から占用する形で協定書を交わし、水路の設置・管理は、下水道部局が担当(敷地は河川区域だが、施設は下水道施設) ・ 管理については、環境局と下水道部局が協定を結び、愛護会など市民対応は、環境局						
成功要因	設計段階より地元説明会を開き、地域住民の意見を取り入れ、事業に対する理解を図った結果、多くの住民の理解と賛同を得られました。自然と調和した水辺の遊歩道として幅広い年代の地域住民に利用されています。平成15年11月「手づくり郷土賞」(国土交通大臣)を受賞しました。 地元住民や町会など市民の協力を得ることで、市の負担が軽減するとともに、継続的に環境が良好な状態が維持できます。						

との協働 NPO・住民 今後の課題	NPO、市民団体も多様で、様々な意見があります。これらの調整を地域の人々の協力を得ながら進めていかなければ、事業が進みません。トイレの設置には、要望、反対の両論があり結局設置しかありませんでした。
関連事業 その他関連情報	【事業の経緯】 ・上記「江川跡地利用計画策定委員会」による事業決定 ・平成4年5月、地元住民から「江川の親水促進と緑の公園化」に関する請願書が出される。この後基本計画策定 ・平成8年度 国土交通省「水循環再生下水道モデル事業」として事業認可取得 ・平成9年度 事業着手 平成15年春供用開始
ヒアリング先 資料提供及び	【ヒアリング先】 川崎市建設局土木建設部河川課 川崎市建設局下水道建設部建設課 【参考文献】 事業パンフレット「江川せせらぎ水路計画」、川崎市建設局下水道建設部 事業パンフレット「快適で安全な水環境(江川せせらぎ遊歩道・江川雨水貯留管)」, 川崎市建設局 事業パンフレット「江川雨水貯留管」川崎市下水道局 記者発表資料「江川せせらぎ水路の完成について」(平成15年5月20日), 川崎市
参考エピソード	平成8年度 国土交通省「水循環再生下水道モデル事業」認可関係通達・資料： http://www.mlit.go.jp/crd/city/eco/eco016.html

江川せせらぎ水路のゾーニング





江川せせらぎ水路の状況